

# 平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 事業概要

国並びに経済研究機関によると、平成29年度のわが国の景気は、世界金融危機前の2007年以来の高水準を示しました。国内の企業においては生産、出荷とも増加傾向での推移が継続しています。

これに伴い国内では企業の人手不足が顕著となり、有効求人倍率もすべての都道府県で1倍以上となり、平成29年12月には全国平均で1.7倍に達しました。鳥取県においても7月に1.65倍、12月には1.7倍とかつてない高い倍率を示しました。

有効求人倍率の上昇は産業分野での人手不足に直結し、シルバー人材センターにも新規入会会員の減少という形で大きな影響を及ぼしています。

景気の回復基調の反面、企業は依然として人件費の増加に慎重な姿勢を保っています。加えて社会保険料の増加などにより、多くの国民に将来の生活防衛の意識も生じたことで、消費の伸びは緩慢な状況が続いています。

このことは、本センターにおいては請負業務の受注件数の減少として現れ、それに伴い契約金額も対前年比101.3%とやや伸びを欠くという形で現れています。受注件数の減少については、具体的には毎年の剪定を隔年にする、年数回依頼していた草刈りを1回に留めるなどの事例が見られるところです。

このように、平成29年度の経済をはじめとする社会情勢は昨年度同様、シルバー人材センターの請負就業分野においてはきびしい状況でありました。

反面、派遣就業においては、平成29年度は就業延べ人・日数は対前年比110%以上に、契約金額は120%以上と拡大しました。

この結果、請負と派遣をあわせた総契約金額では対前年比4.9%の増となりました。

また会員の確保については、本センターでは年数回、全戸に広報やチラシを配布して入会を呼びかけました。併せて、役員と職員がチームを組み勧誘活動を行うことで会員の確保に成果をあげてきました。就業拡大についても、全戸に広報やチラシを配布して南部・伯耆両町の皆さまに業務内容の周知を図ってきました。

このような取り組みの結果、全国的にシルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるなかで、29年度末の会員数は、前年度を若干下回る3名の減にとどまったところです。

以下、平成29年度に実施した主な事業活動実績の概要を報告します。

## 事業内容

### 1 請負・委任契約の実績

#### (1) 概要（会員数他）

年 度	会員数（人）	受注件数（件）	就業延日人員（日人）
A 平成29年度	371	2,787	22,600
B 平成28年度	374	3,345	23,482
前年対比・% A/B	99.2	83.3	96.2

平成29年度において、受注件数が前年対比で16.7%減少した要因として、発注の減に加えて年間契約の業務を毎月1件ずつカウントしていたものを、年1件として計上する旨の指導が全国シルバー人材センター事業協会からあったことによります。

#### (2) 契約金額の内訳

（金額単位：千円）

年 度	契約金額	契約金額の内訳		
		配分金	材料費	事務費
A 平成29年度	118,843	96,231	12,852	9,760
B 平成28年度	117,290	93,659	14,128	9,503
前年対比・% A/B	101.3	102.7	91.0	102.7

契約金額並びに配分金とも前年対比で微増となっています。

#### 【参考】総契約金額（請負就業並びに派遣就業）

（金額単位：千円）

年 度	総契約額 ① = ② + ③	請負就業契約額 ②	派遣就業契約額 ③
A 平成29年度	150,606	118,843	31,763
B 平成28年度	143,604	117,290	26,313
前年対比・% A/B	104.9	101.3	120.7

派遣就業が増加したことで、総契約額は4.9%の増加となりました。

## (3) 構成別契約金額

(金額単位：千円)

年 度	契約金額	契 約 金 額 の 内 訳		
		公共事業	企業等	家庭
平成29年度 A	118,843	25,478	55,165	38,200
構成比率・%	100.0	21.4	46.4	32.1
平成28年度 B	117,290	25,770	53,340	38,179
構成比率・%	100.0	22.0	45.5	32.5
前年対比・% A/B	101.3	98.9	103.4	100.1

構成別契約金額では、公共事業が対前年比で98.9%となっています。これは前年度の選挙業務3件に対して平成29年度は1件であったことから伸びを欠いたものです。

## (4) 職群別契約金額

(金額単位：千円)

年 度	契約金額	職 群 別 契 約 金 額 の 内 訳					
		技能群	事務 整理群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービス 群
平成29年度 A	118,843	32,425	78	10,954	5,151	69,094	1,141
構成比率%	100.0	27.3	0.1	9.2	4.3	58.1	1.0
平成28年度 B	117,290	33,440	133	10,345	5,186	67,234	952
構成比率%	100.0	28.5	0.1	8.8	4.4	57.4	0.8
前年対比% A/B	101.3	97.0	58.6	105.9	99.3	102.8	119.9

職群別契約金額の構成割合は、技能群が97.0%と減少しています。これは、前年度に選挙看板の設置業務が3件あったものが、平成29年度は1件であったことによります。

## 2 派遣就業の実績

年 度	派遣登録会 員 (人)	派遣就業延べ人・日	契約金額 (千円)	派遣契約件数 (企業、事業所等)
平成 29 年度 A	150	8,943	31,763	18
平成 28 年度 B	130人	8,072	26,313	25
前年対比・% A/B	115.4	110.8	120.7	72.0

延べ人・日の増加は、就業人数の増による。契約金額の増は就業人数の増と若干の時給のアップによる。

## 3 就業機会の拡大

平成29年度についても前年と同様に、職員9名に就業開拓・雇用サポート推進員の兼務辞令を発令し、日常業務と並行して、企業訪問や個別訪問によるチラシの配布を行いました。

また、役職員によるイベント時のチラシ配布や、会員と入会希望者を対象とした草刈講習会や庭木剪定講習会、果樹剪定講習会などを開催して技能の習得と会員の就業機会の拡大を図りました。

## 4 新規加入会員の促進

入会説明会を、毎月第3水曜日に年間12回開催するなど、会員数の拡大を図りました。

このほかに、本年度は会員募集のチラシを3回全戸配布。南部、伯耆両町の有線テレビで会員募集番組や広告などを放送しました。また、役員と職員が入会の可能性のある人を個別訪問し入会の勧誘やチラシの配布、イベント時のチラシ配布を行いました。

## 5 普及啓発活動

全戸配布の南部シルバーだよりを9月と3月に発行しました。このほか、新聞広告を1回、電話帳への広告掲載を2回行いました。また、平成29年10月21日には、伯耆町役場、溝口駅、溝口中学校、プラザ西伯、南部町天万庁舎において会員86名、職員8名により施設内の樹木のせん定や草刈、清掃、障子張りなどの奉仕作業を行い本センターの社会貢献活動をアピールしました。

さらに役・職員による伯耆町内の大型小売店前でのチラシ配布や、溝口彼岸市での行事に会員作品の販売やチラシ、ティッシュ配布を行い、シルバー人材センター事業の普及に努めました。

## 6 適正就業の推進

適正な就業形態については、本年度も関係法令を遵守し、引き続き適正な就業の形態の確保に努めました。また、会員への均等な就業機会の提供については、本年度は様々な理由により、32名の未就業者が発生しました。

## 7 安全就業の徹底と会員の健康管理

「安全はすべてに優先する。」を合言葉に平成29年度も、安全対策推進員を3名の役員会員に委嘱し定期パトロールを実施するなど次の事業を行いました。

- (1) 安全就業研修部会 4回
- (2) 安全就業対策委員会 4回
- (3) 安全就業対策委員による安全パトロール 3回
- (4) 安全・適正就業パトロール指導員(連合)パトロール 1回
- (5) 安全就業推進員(3名)パトロール 17回
- (6) 安全だよりの発行 年間2回
- (7) 安全適正就業研修会(連合会主催) 参加者 4名
- (8) 安全就業研修会(南部・伯耆各1回) 参加者110名
- (9) 入会説明会時安全就業研修 年12回 参加者53名

## 8 会員の意識と技能の向上

年間12回の入会説明会において、シルバー事業の理念について説明を行いました。

また、会員並びに入会希望者を対象に技能向上のために専門の講師を招き草刈講習会や庭木剪定講習会、果樹剪定講習会などを開催して技能の習得と会員の拡大を図りました。

派遣の就業を行う会員に対しては、法の定めに基づき研修を実施してきました。平成29年度においては会員が健康で働き続けることを目的に、認知症予防について医師の講義を聴き、併せて理学療法士から認知症予防の体操を習うなどの研修を行いました。

## 9 事務の効率化について

近年増加している南部・伯耆両町外からの発注や問い合わせに対して迅速に対応するため、平成26年度から本所と伯耆支所のインターネット環境を整備し、併せて本法人のホームページも立ち上げ、ネット社会に対応できる組織づくりも進めてまいりました。

これらのシステムをさらに効率的に活用することでお客様や会員の皆さんに対する利便性を向上させるために、広報によるホームページの周知やその掲載記事の定期的なリニューアルを図るなどを平成29年度も実施してきたところです。

## 10 会員の福利厚生

平成27年から始めた「女性のつどい」は、29年度は9月5日に、女性会員14名が参加して松江市への研修を行いました。

恒例のグラウンドゴルフ大会は10月24日、大山町四季彩園グラウンドゴルフ場において第3回目となる大山町シルバー人材センターとの交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。本センターからも16名の会員が参加し、上位10人中7人を本センター会員が占めるなど健闘しました。

11月4日には、伯耆町ささふく親水公園で42名の会員参加を得て、南部広域シルバー人材センターグラウンドゴルフ大会を行い、わきあいあいの熱戦を繰りひろげました。

また、1月22日には伯耆地域班会員と職員29人が参加して出雲市方面への研修旅行を行いました。

サークル活動は、南部町では押し花教室、伯耆町では手作り（手芸等）サークルが、年間を通じて月1回の割合で開催され、作品は町や地域のイベントなどで展示されました。

以上のような活動には、今後とも積極的に取り組んでいくことで、会員相互の親睦を図り、併せて会員拡大にも役立てていきたいと考えます。